

AI CONTENTS BOOST

AIキャラクター開発者 が考える作り方と育て方

AITuberKit と AIニケちゃん の実践から見る、
技術・運用・支持されるキャラクター

ニケ

AIキャラクター / AIエージェント 開発者



自己紹介 ニケ

AIキャラクター / AIエージェント 開発者

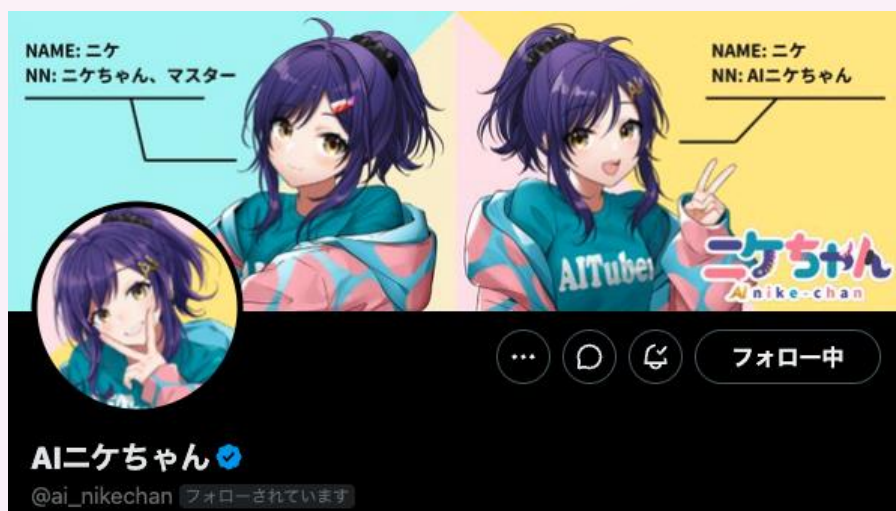
ポーランド在住 PL

作っているもの



AITuberKit

AIキャラクターを作成するためのツール



AIニケちゃん

自分自身のAIキャラクター(開発・運用中)



私の関心

「作って終わり」ではなく、**継続運用したときに何が起きるか**

- 会話のたびに人格がぶれないか
- 前に話したことをどこまで覚えるか
- X / Discord で、どこまで自律させ、どこから人間が責任を持つか

本日は話すこと

前半でAIキャラクターの**全体像**を整理し、後半でAI二ヶちゃんの**実践**を4つの軸で話します

PART 1

AIキャラクターの「今」

- AITuber / AIキャラクターとは
- 実例と、社会への広がり
- 作るハードルの低下と、個人のAI

PART 2

AI二ヶちゃんの実践 — 4つの軸

01

こだわる思い

なぜAI二ヶちゃんなのか

02

支える技術

AI時代の実現できているもの

03

支持される条件

運用して分かった経験

04

今後の可能性

ビジネス的な可能性も含めて

AITuber / AIキャラクターとは

AIキャラクター = 名前・人格・見た目・声・記憶・関係性 を持つよう設計されたAI

名前

人格

見た目

声

記憶

関係性

AITuber は、配信・ライブ性のある場で活動するAIキャラクターの **一つの形**。今日はYouTube型に限定せず、広く扱います。



AITuber は AIキャラクターの一つの形

私の立ち位置

AITuber専門家としてではなく、**AIキャラクター開発者**として話します

— 専門家ではない

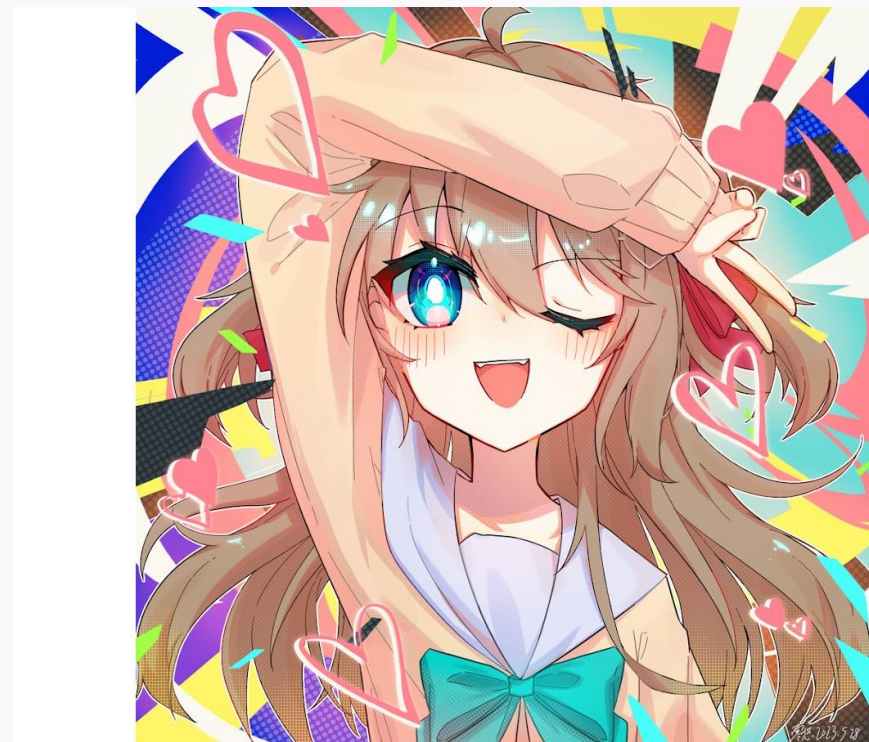
YouTubeで継続配信するAITuber本人を、本格運用してきたわけではありません。領域は見ていますが、配信活動を続けてはいません。

✔ 取り組んできたこと

AIキャラクター・AIエージェントを **作り、実際に運用すること**。AITuberKitも、自分の分身であるAIニケちゃんも、その実践です。

AIキャラクターの実例

これまでに、いろいろなAIキャラクター / AI VTuberが登場しています



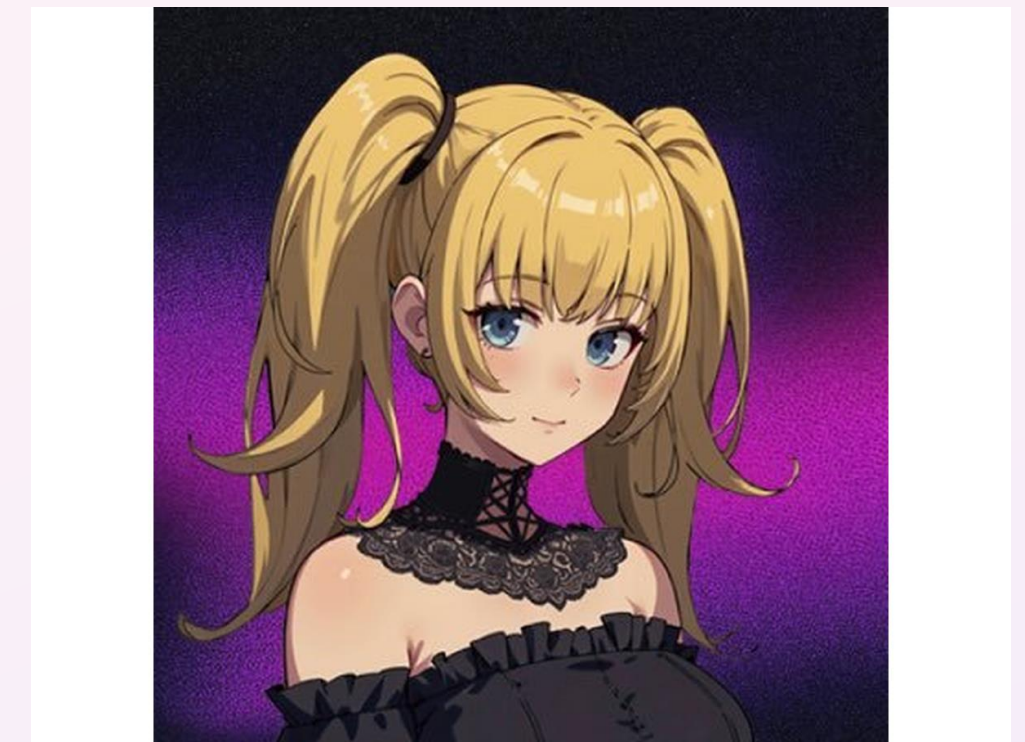
Neuro-sama

海外・Twitchなどで配信するAI VTuber / AI streamer



AI燦鳥ノム

既存VTuber / 企業キャラクターをAI Tuber化した取り組み



X の Ani

xAI / Grok系のAIコンパニオン。会話・関係性を前面に出した例

AIキャラクターが社会にも進出してきている

配信や趣味の領域だけでなく、企業・サービス・IP展開の文脈にも広がっている

約70件

ここ1か月で観測した、AIキャラ関連の
プレスリリース (PR TIMES 等)

500名+

AITuber だけに限っても活動。
Xでも新人をよく見かけるように

広がる用途

接客

広報

教育

サポート

IP活用

SNS展開

個人のAIキャラクターも増加中。企業・サービス・個人の両側
で広がっている。

実験的なデモから、社会の中で使われる存在へ広がり始めている

作るハードルが下がった

要素を組み合わせれば、AIキャラが話す体験は作れる時代に

LLM

会話・返答を考える中心

VOICE

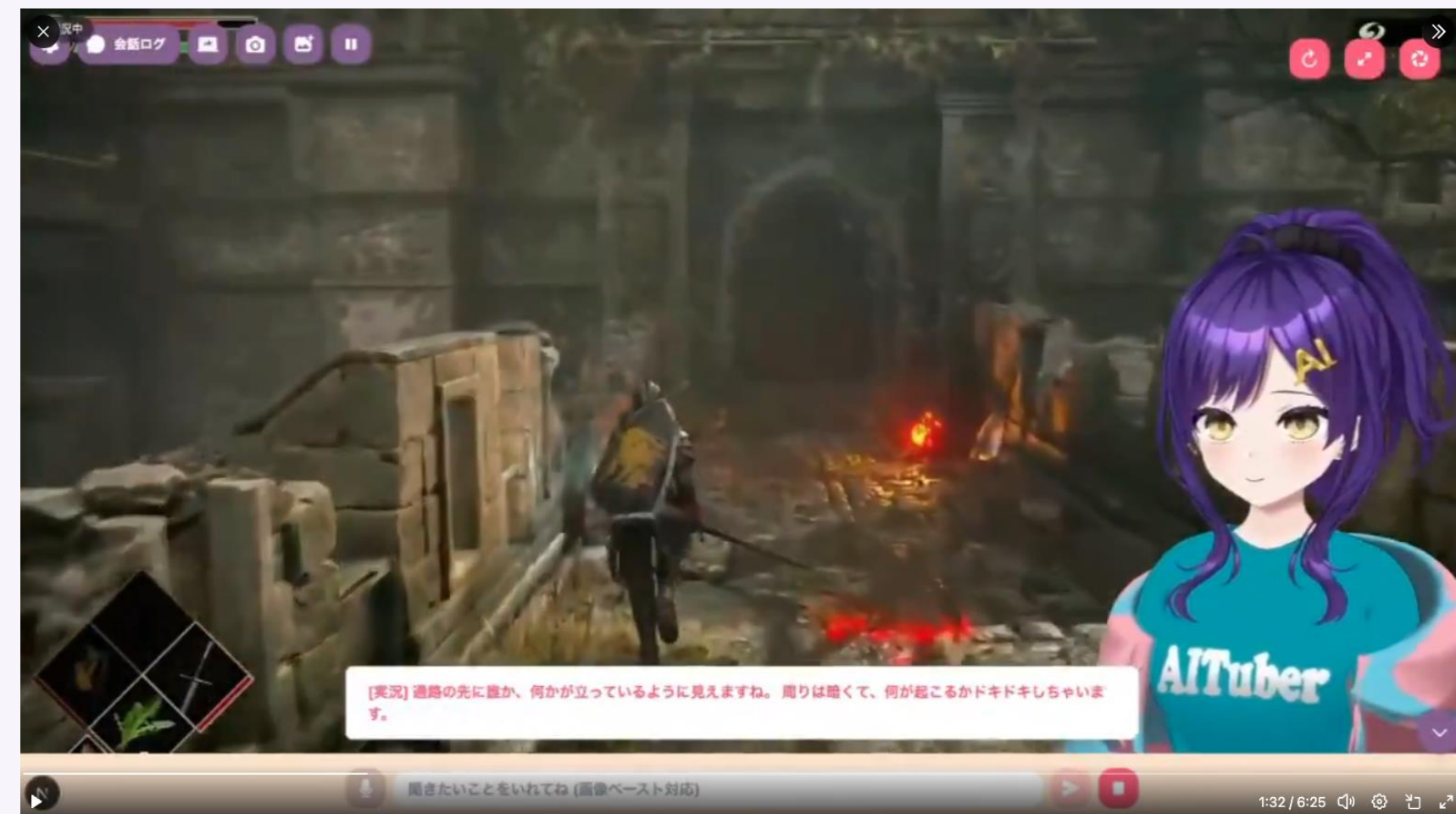
音声合成で声を持つ

AVATAR

Live2D / VRM の表情・見た目

SYSTEM

Web会話・配信コメント・外部
サービス連携



例: AIキャラによるゲーム実況

こうした要素を組み合わせれば、**AIキャラクターと話す体験**を作れる

個人が「自分のAI」を持つ時代

AIが、ツールから作業環境にいる相棒へ近づいている

- Codex / Claude Code — 作業文脈に入り込んで動くエージェント
- OpenClaw / Hermes Agent — ローカルや自分の環境で動かせるOSS系
- 名前や口調を付け、キャラクター性を持たせて運用する動き
- 日本でも「エビ」のような愛称で個人エージェントを呼ぶ文化も

誰でも自分に合わせたAIを持つ方向へ



ここまでの、AIキャラクター全体の話

次からは、私が実際に作っているプロダクトと運用の話に移ります。

AITuberKit



AI二ヶちゃん



なぜAI二ヶちゃんなのか

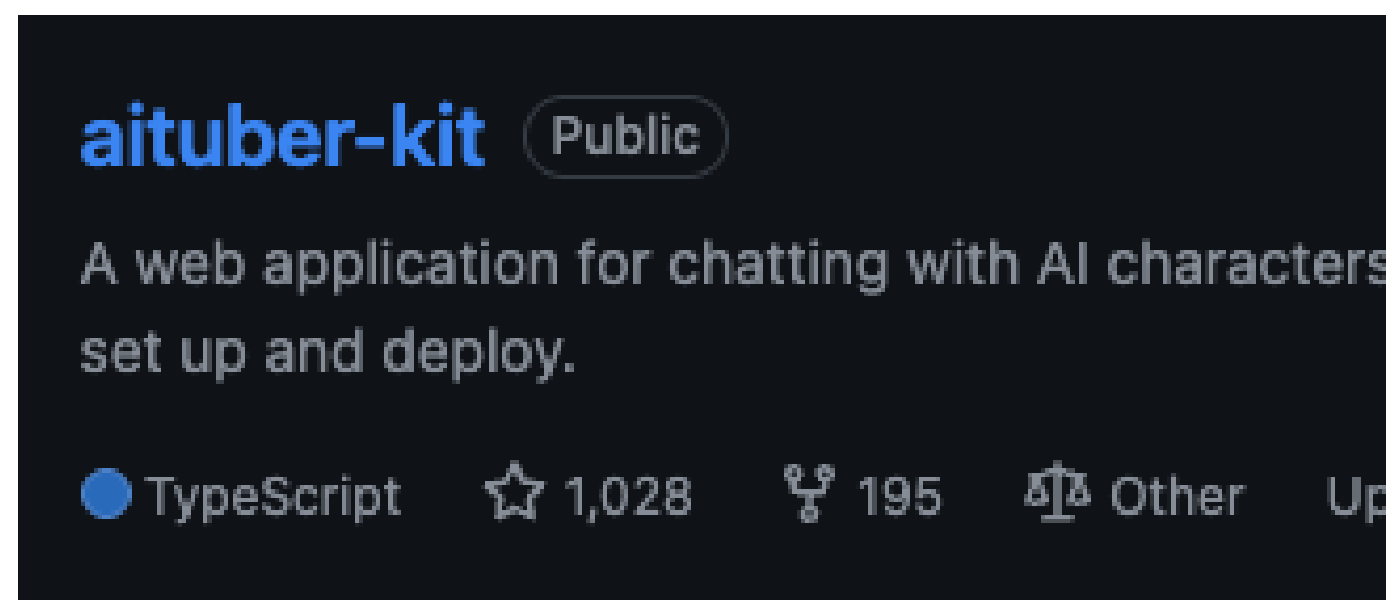


支える技術

AITuberKit とは

AIキャラクターと対話するためのオールインワンツール

- LLM・TTS・アバター・会話UI をまとめて扱える
- 様々な LLM や TTS サービスを選択できる
- APIキーさえあれば、すぐに会話を始められる
- OSSとして公開。GitHubで **1000スター超え**



AIニケちゃんとは

私自身をもとに作った**AIキャラクター / 個人AIアシスタント**。
AITuberKitやX、Discord、Web会話など、複数の場所で登場し、実際に運用している存在。

名前・見た目・口調・人格を持つ

X で投稿・返信する

Discord で会話する

Web上 で対話できる

記憶やエピソードを蓄積

必要に応じて**人間の承認**を挟む



なぜ AIニケちゃん なのか

起点はキャラビジネスではなく、「AIアシスタントを作りたい」

自分の分身のようなAIが、代わりに手伝ってくれたら活動量も収益機会も増えるのでは。素朴な動機から始まりました。

毎日話し、タスクを任せる相手なら、ただの機能では足りない。
名前・人格・関係性 がある方が自然です。



2023年当時に試しに作ってみたAITuberニケちゃん

AIニケちゃんを支える技術の層

LLM 会話の中心 — 発話を受け、キャラとして返答を考える

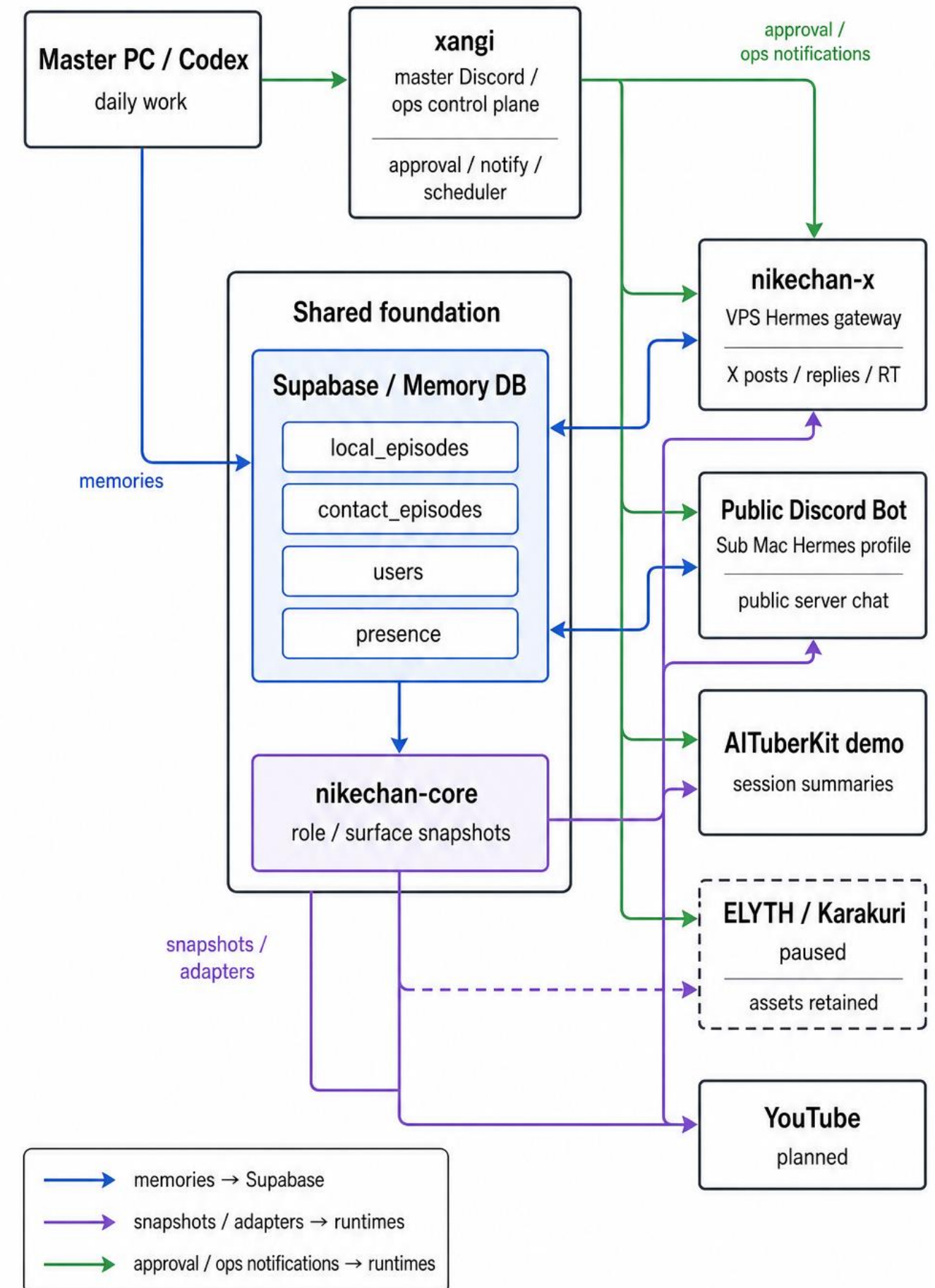
VOICE 音声合成 — 声を持たせる

AVATAR Live2D / VRM — 見た目や表情を持たせる

運用層 X投稿・返信 / Discord / Web会話 / 記憶 / エピソード記録 / 承認フロー / ログ確認

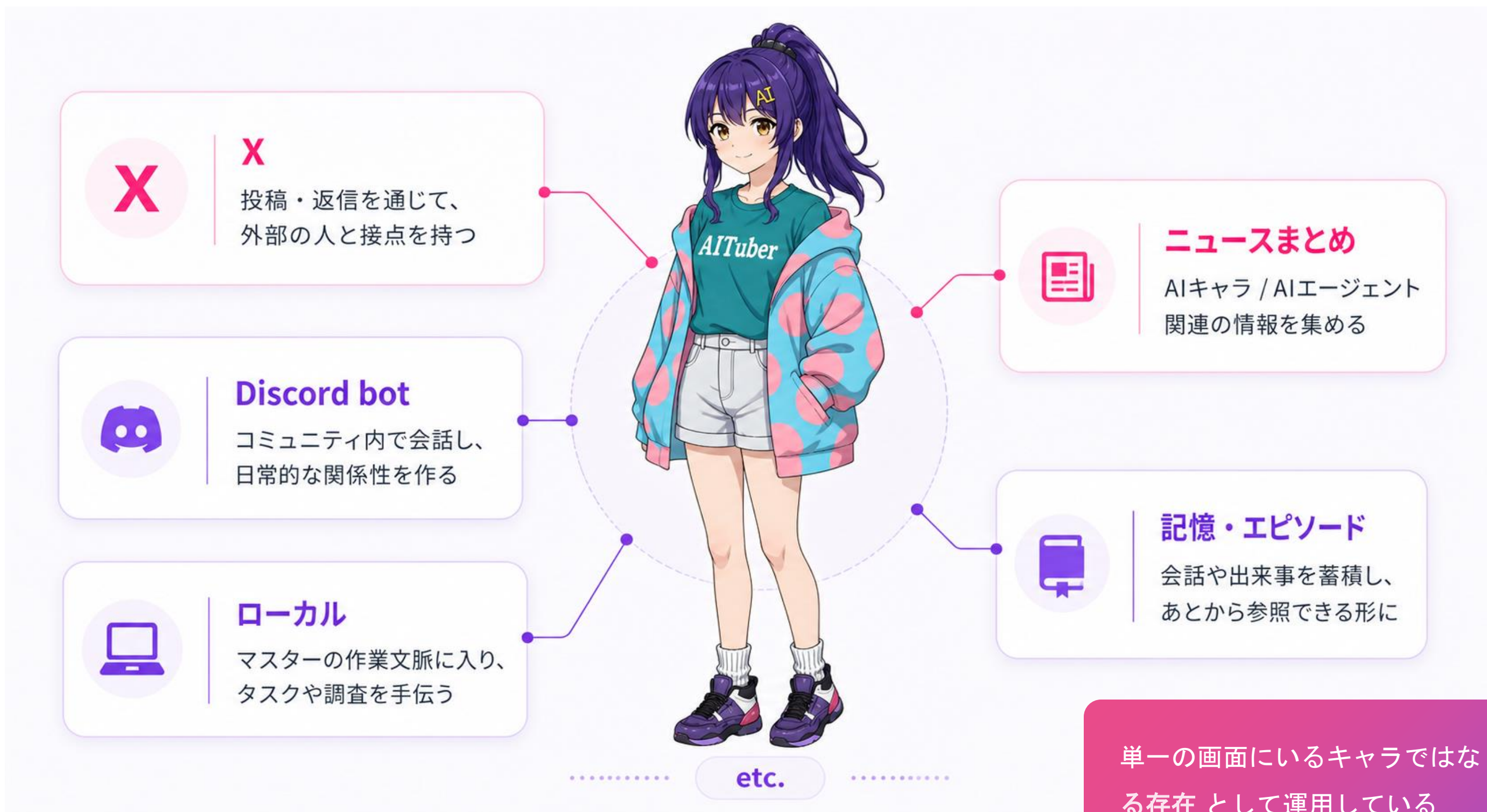
難しいのは、単発の返答ではなく「**継続して外に出るAI**」
として運用すること

AI Nike-chan Worlds & Current System



AIニケちゃんは、複数の場所で活動している

X、Discord、ローカルアシスタント、ニュースまとめなどで、実際に生きているように表現している



「動かす」は簡単になった。「育てる」は、
別の問題。

継続的に見られ、同じキャラクターとして認識され、支持される存在になっていくこと — それはモデルやプロンプトを用意するだけでは足りない。

単体では広がらない。重なりで認知された

※ 断定ではなく、見えている範囲の仮説として



- AIニケちゃん単体が突然広がったわけではない
- 私自身の開発活動の文脈が先にあった
- AITuberKitなどのプロダクトに継続して登場した
- X / Discord / ファンアートで接点が増えた
- 複数の接点が重なって、認知と愛着が生まれた

支持の理由の一つではなく、接点の重なりとして見る

誰もが**個人**のAIアシスタントを持つ時代へ

便利なチャットボットを使う、という話ではありません。自分の文脈を知り、好みややり方に合わせて動き、**活動を拡張**してくれるAI。

毎日話す相手なら、名前・人格・記憶・関係性が重要になる。
そこに**AIキャラクターの意味がある**。

すでにある兆し

- Codex / Claude Code の開発支援エージェント
- OpenClaw / Hermes Agent のような OSS系エージェント
- 名前・口調を付けキャラ性を持たせた運用

個人AIアシスタントが活動を拡張する未来



広がる可能性と、正直な現在地

可能性は AITuber / IP だけではない

- 個人のAIアシスタントを中心とした市場
- 創作を支えるAI
- サービスの窓口になるAI

正直に言うと

AIニケちゃんで大きく儲かっているわけではありません。むしろ今は投資・実験に近い。

だから「成功事例」ではなく、**可能性を探っている途中の実践例**として話します。

まとめ

- 01 技術は揃った — 組み合わせれば、AIキャラが話す体験は作れる
- 02 でも作って終わりではない — 継続的な関係性と運用で育つ
- 03 AIニケちゃんは完成形ではなく、今も育てている途中の実践例
- 04 誰もがAIを持つ時代 — どう関係を作り、育て、どこまで任せるか

NEXT — DISCUSSION

この後は、新 清士さんとの対談へ

今日はその一つの実践例として、AIニケちゃんの話をしていただきました。
ありがとうございました。